

## 下北で初の全国和牛能力共進会への出場決定！

～竹林竹光さん（向野）出品牛「あみ」号～

7月23日（月）、青森県家畜市場（七戸町）において「第10回全国和牛能力共進会」に出場する県代表を決定する【青森県最終選抜会】が開催され、県内各地から選抜された黒毛和種44頭が出場し、種牛の部第3区（生後17～20ヶ月）の部門で、竹林竹光さん（向野）出品牛「あみ号」が青森県代表に選ばれました。この種牛の部において、代表となるのは下北からは初めてとなります。

「全国和牛共進会」は、5年に1回、和牛の先進地で開催され、肉牛生産者からは「和牛のオリンピック」とも呼ばれており、今回は長崎県で10月下旬に開催予定で、全9部門に38道府県から約480頭が出場、青森県は初めて全部門に参加する事となりました。

今回、初出場で代表に選ばれた竹林竹光さんは、「県の期待に応えるよう、努力を惜しまず頑張りたい」と抱負を語っており、「全国和牛共進会」での活躍が期待されます。



全国和牛能力共進会へ出場する竹林竹光さんとあみ号

## 交通事故のない楽しい夏を過ごしましょう！

～夏の交通安全運動「サマー作戦」～

夏の交通安全県民運動期間中（7月21日～7月31日）の7月23日（月）に、東通村交通安全対策協議会（会長：越善靖夫村長）による夏の交通安全運動「サマー作戦」が、国道338号線（老部地区）にて実施されました。

サマー作戦実施に先立ち、越善村長より「レジャーや夏休みなどで車を利用する回数も増え、気のゆるみや無理な追い越しなどにも注意が必要です。村内から交通死亡事故をなくするため、皆様と一体となって啓蒙活動に取り組んで参ります」と挨拶があり、同協議会役員やむつ警察署、村交通安全母の会、むつ地区交通安全協会、村交通安全指導隊など約30人が、ドライバーの皆さんに安全運転を呼びかけました。

夏は車の利用が多く、また、子ども達も外で遊ぶ機会が多くなります。ドライバーの方はもちろんのこと、歩行者の方も車に十分気を付け、交通事故のない楽しい夏を過ごしましょう。



安全運転を呼びかける越善村長



多くの方々に参加いただき安全運転を呼びかけました